

カトリック八尾教会ニュース 2026年9月



こんげつ よてい
【今月の予定】

じかん
ミサの時間

Tháng chín

—すべてのいのちを守るための月間（9/1～10/4まで）—（献金）

6日（日）年間第23主日 7:00 (故ジャック・バン・アッセ神父様2013.9.1追悼)
 ↳被造物を大切に作る世界祈願日 10:00 病者のための祈りのつどい（ミサ後）

13日（日）年間第24主日 7:00
 10:00

一斉清掃（ミサ後）、典礼委員会（ミサ後）

14日（月）十字架称賛 ————

19日（土）子ども会（初聖体勉強会） 14:00
 信仰講座 16:00



20日（日）年間第25主日 7:00
 ↳祖父母と高齢者のための世界 10:00
 祈願日 ベトナム語のミサ 15:00

（故ペトロ平松郡太郎神父様1984.9.26追悼）
 『敬老の祝福式』

23日（水）病者・障がい者とともに歩むミサ（14:00） 教区行事（カテドラルにて）

27日（日）年間第26主日 7:00
 ↳世界難民移住移動者の日（献金） 10:00

子どもとともにささげるミサ・子ども会
 南地区宣教評議会（平野教会、14時～）

【平日のミサ】 木曜日 10:00

〈3日、10日、17日、24日〉



2026 年すべてのいのちを守るための月間 ラウダート・シ部門 担当司教メッセージ 「いのちの水」

毎年9月1日の「被造物を大切に作る世界祈願日」¹から、アッシジの聖フランシスコの記念日である10月4日までの期間、世界のキリスト者は「被造物の季節（Season of Creation）」を祝って

います。日本の教会も、2019年の教皇フランシスコ来日時（らいにち）の呼びかけにこたえ、2020年よりこの期間を「すべてのいのちを守るための月間」と定め、意識（いしき）と自覚（じかく）を深めながら、具体的な行動へと踏み出すよう歩みを重ねてまいりました。・・・

2026年の「被造物の季節」のテーマは、「いのちの水（Living Water）」です。このテーマは、預言者エゼキエルの幻（ヴィジョン）に由来します。・・・わたしたちキリスト者にとって、水は洗礼の恵みを思い起こさせるものでもあります。洗礼の水によってわたしたちは新しいいのちに生まれ、キリストの死と復活に結ばれる者となります。エゼキエルの幻の水が神殿からわき上がり、流れ出て、大河になって広がっていったように、洗礼によって受けたいのちの恵みを、自分の内に留めてしまっ（おし）てはいけません。『ラウダート・シ』が教えるように、この世界のすべてのものはつながっており、生きるために互いを必要としています。この「すべてのいのちを守るための月間」の間、わたしたちは、いのちのつながりを大切にする小さな取り組みを続け、それが家庭へ、地域社会へ、そして被造物全体へと流れ出ていくよう努めましょう。（カトリック中央協議会H.P. より一部抜粋）

■ブロック子どもの夏のつどいがありました。 8月1日（土）14～19時半

かわちブロックこども会の夏の集いがありました。高山神父様、4名の神学生の皆さん、子ども21名、大人16名の皆様とともに、とても楽しい時間を過ごしました。チーム対抗のゲームから始まり、折り鶴やロザリオを作り、平和の祈りを捧げ、参加した全員の子どもたちが一人一人役割を持ってミサに与（あずか）ることができました。その後、用意していただいたカレーライスをいただき、最後にゲームとみんなで歌を歌って過ごしました。暑い中カレーライス作りをして下さった方々、子ども達と共に活動して下さった方々、本当にありがとうございました。（子ども会）

■教区、青年と子どもの練成会に参加して。

8月9日（日）-11日（火）

大阪信愛小学校で「愛をつなげるぶどうの木」というテーマで小、中学生対象の練成会に当教会からも三人の子ども達（さん）が参加しました。家族の元を離れ二泊三日の練成会の感想を聞くと・・・「たくさんの友達がいて嬉しかった！」「みんなと仲良くなったよ！」「夜、寝る時もみんなで遊んで楽しかった！」「・・・多くの友達と愛をつなげてきたようです。

■釜ヶ崎炊き出し支援日誌（社会活動委員会）EとKより・・・8

8月も厳しい暑さの中、ボランティアグループの皆さんの頑張（がんば）りにより炊き出しの提供ができました。例年8月12日から15日は三角公園内で今年亡くなられた方の慰霊祭や屋台での販売、盆踊りなどが行われ、暑気をはらう賑わいとなりました。炊き出しもおにぎり（やさいどんぶり）と野菜丼の提供を行いました。15日はイエズス会の神学生たち8名（コンゴやインドなど）が応援に来てくれ、おおいに助かりました。八尾教会の皆様のご支援に感謝申し上げます。



募金活動報告

◎フィリピン水害募金：47,646 円(6/14) ◎ベネズエラ地震募金：26,050 円(7/31)、を
カリタス・ジャパンへ振込しました。ご協力ありがとうございます。※熊本地震への支援ありがと
うございます。次回ご報告いたします。また、世界的に災害が増えている今後支援を必要とするコ
ロンビアなどが続いています。日本と同じ環太平洋の国々です。引き続きご協力をお願いします。

平和旬間のつどいが行われました。

今年の大阪高松大司教区の平和旬間テーマは「私は平和の道具～おもいだし、ともに歩み、守る」
です。八尾教会では8月1日の三教会合同の子ども会でリーダーや大人と子どもたちが一緒に
平和について考え、祈りを込めて折り鶴を折りました。また、8月9日の平和祈願ミサでは、その
折り鶴を奉納、神父さまからも平和についてお話を聞き、平和についての共同祈願を日本語と
ベトナム語で捧げました。ミサ後の集いでは、81年前の今日、長崎浦上で被曝された池松アヤ子
さんの語りの記録を朗読をさせていただきました。アヤ子さんの語りは坦々としているからこそ、
当時の状況が目に見え、悲しみも深く感じられるものでした。その後、2本の映像を見ました。
1本目は原爆を受け生きたいと願いながら、10年後に亡くなった少女と、今なお、戦火やその影響
の中で生きる少女たちの希望について、もう1本はイスラエル、ガザの子どもたちのインタビュー
です。イスラエルやパレスチナは私たちとは切っても切れない場所ですので、心を寄せたいと
思いました。これからも平和について考えることが毎年続きます。こんなことをみんなで話した
い、このひとの話をききたいということがあれば、ご意見よろしくをお願いします。

(社会活動委員会)

敬老の日

フランシスコ高山 徹 神父

神学生時代お世話になっていたある小教区では、敬老の日のお祝いを「人生の實りに感謝する
会」等と表現していたと記憶しております。より喜びをもってお祝いする目的があったのだと思
います。私は、その目的以上に心意気に感動していました。すなわち、そこで言われている「人生
の實り」に皆が与らせて頂いているという意味での「感謝」の思いが伝わってきたからです。

アフリカの諺で「ご高齢の方は生きている貴重な図書館」というそうです。日本での「生き字引」
に近いと思います。そういえば、神学院ではよく、ご高齢の神父様を神学生の聴罪司祭として招聘
します。養成の過程で様々なことを乗り越えていかねばならない神学生にとって、そっと耳を
傾けて下さりながら、知恵の言葉をかけて下さる方の存在が、とても重要であるからです。そう
いえば、今は天国におられるセグラ神父様が、ビアンネ館の責任者として着任される時、「私は
ビアンネ館のおじいちゃんの役割を果たします」とおっしゃっていました。神父様は、ビアンネ館
に限らず、正に皆さんにとって共に歩んでくださる「おじいちゃん」でした。

改めまして、敬老のお祝いにあたり、お喜び申し上げますと共に、皆様より頂いている全て
の恵みに感謝申し上げます。いつも本当にお支え頂いております。これからも、益々のご健康と
ご活躍をお祈り申し上げます。お一人お一人の上に、神の豊かな恵みと祝福がありますように。

HƯỚNG VỀ NGÀY KÍNH LÃO

Tôi nhớ rằng, tại một giáo xứ nơi tôi từng được giúp đỡ trong những năm còn là chủng sinh, ngày mừng các bậc cao niên được gọi là “Ngày tri ân những thành quả của cuộc đời”. Cách gọi ấy nhằm giúp mọi người mừng ngày này với niềm vui sâu sắc hơn. Nhưng điều khiến tôi cảm động hơn cả là tâm tình tri ân được gửi gắm trong đó: chúng ta cũng đang được đón nhận và hưởng những thành quả mà các bậc cao niên đã vun đắp trong suốt cuộc đời mình.

Có một câu tục ngữ châu Phi nói rằng: “Người cao tuổi là những thư viện quý giá còn sống.” Tôi nghĩ câu nói này cũng gần với cách người Nhật gọi các bậc cao niên là những “tử điển sống”. Nghĩ lại, tại Đại Chung viện, chúng tôi thường mời các linh mục cao niên đến làm cha giải tội cho các chủng sinh. Đối với những chủng sinh phải vượt qua nhiều điều khác nhau trong quá trình đào tạo, sự hiện diện của một người lắng nghe và trao gửi những lời khôn ngoan là điều vô cùng quan trọng. Tôi cũng nhớ đến cha Segura, vị linh mục nay đã về với Chúa. Khi cha được bổ nhiệm làm người phụ trách Nhà Vianney, cha từng nói: “Tôi sẽ đảm nhận vai trò là người ông của Nhà Vianney.” Quả thật, không chỉ đối với Nhà Vianney, cha chính là một “người ông” luôn đồng hành cùng tất cả mọi người.

Một lần nữa, nhân dịp mừng Ngày Kính Lão, tôi xin gửi lời chúc mừng và niềm vui đến quý ông bà, đồng thời xin chân thành cảm tạ tất cả những ân phúc mà tôi đã nhận được từ quý ông bà. Quý ông bà luôn thực sự là những người nâng đỡ và đồng hành với tôi.

Nguyện xin quý ông bà luôn được dồi dào sức khỏe và tiếp tục có những đóng góp tốt đẹp trong cuộc sống. Nguyện xin Thiên Chúa tuôn đổ dồi dào ân sủng và phúc lành đến quý ông bà.